

月刊「工場・倉庫通信」を発行する「メガキューバー」は、豊工務店が運営する工場・倉庫建築ブランドです。工場・倉庫オーナー様の出店計画から操業後のメンテナンスまでトータルサポートをお約束します。豊工務店の創業65年の実績に甘んじず、お客様のご要望に真摯に向き合い、“低価格・短工期・高品質”な工場・倉庫建築を実現します。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営に関する情報などリクエストも大歓迎です。今後とも、「メガキューバー」を宜しくお願いいたします！

【発行元】

株式会社豊工務店

〒862-0914

熊本県熊本市東区山ノ内1-3-1

TEL : 096-365-6503

FAX : 096-367-3332

## 工場・倉庫の「脱炭素経営」とは？

本記事では、工場・倉庫の「脱炭素経営」についてご紹介します。

SDGsやESGの目標を掲げて、企業でも温室効果ガス削減に向けた取り組みを既に進めている事業者も多いかと思えます。

今回は、より身近な視点で、「脱炭素経営」に向けた工場・倉庫の明日から実践できる対策などを紹介します。



### 対策優先度の高い脱炭素化の取り組みとは？

「脱炭素化」は、温室効果ガスを減らすという取り組みです。

取り組みが必要な背景には、温暖化による異常気象の現象があります。

猛暑の増加による熱中症リスクの高まりをはじめ、農業・漁業の収穫物への被害、自然災害へのリスクなどが、年々深刻な問題となっています。

そこで、企業の積極的な「脱炭素経営」に取り組みが求められています。

特に、製造業は、企業・事業所他部門のエネルギー消費全体の約68.1%（2020年度）を占めており、対策優先度は高くなります。

省エネポテンシャルの高い取り組みでは、運輸業の次世代自動車、電気自動車、燃料電池自動車の導入などが挙げられます。

その他、公共交通機関の利用促進、物流の効率化、モーダルシフトの推進や、新築建築物における省エネ基準適合の推進などがあります。

工場・倉庫の「脱炭素経営」では、温室効果ガスの削減効果高い取り組みから優先的に進めていくことが有効です。

# 工場・倉庫の脱炭素化の取組み方法とは？

## 脱炭素化の取組み事例

製造業のA社では、「脱炭素経営」に取り組み、再生可能エネルギー100%工場を実現しています。

計画では、サプライチェーン全体の排出量にて、2017年のスコープ①、②、③を測定し、基準年に対する目標を設定しています。

### ＜サプライチェーン全体の排出量＞

#### Scope 1（直接排出量）

車両の燃料転換（再エネ化）等を検討する。

#### Scope 2（間接排出量）

本社工場で使用する電力のうち、一部に太陽光パネルを設置する。自家消費行い、残りの電力については、購入電力を再エネ電力メニューに切り替える。

#### Scope 3（そのほかの排出量）

サプライヤーとの連携により、各社の再エネ電力の使用推進、印刷用紙のリサイクル推進等に取り組む。

「脱炭素経営」に早くから取り組んだことで、メディアでの取材や見学者の増加、取り組みに賛同して注文も結果として増えるようになりました。

## まとめ

いかがでしたでしょうか？今回は、「脱炭素経営」について紹介しました。

自社内の取組みとどまらず、製造業・運輸業全体の削減に寄与する新たなビジネスも検討いただきたいと思います。

ぜひ早めの対策を検討いただけますと幸いです。



工場・倉庫建築に使える  
お得な補助金レポートはコチラ



工場・倉庫建築専門店「メガキューバー」

（お問合せ窓口：原口）

TEL: 096-365-6503 FAX: 096-367-3332

〒862-0914 熊本県熊本市東区山ノ内1丁目3番1号

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて  
096-367-3332迄ご返信をお願い致します。

案内  
不要

お問合せは  
コチラまで